

【編集後記】

Vol.1 の第 2 号をお届けします。2017 年 8 月 12 日に大阪において、LISSASPAC 日本支部の設立セレモニーとそれを記念した研究講演会が開催されました。その内容は『LISSASPAC 日本 vol.1 no.1』（同時に研究講演会の『予稿集』でもある）として刊行致しました。

これに続く本号は、各研究発表の先生方（鎌田均、Lim Hyoung、立花明彦、岡田大輔、Kim Eungi）が第 1 号では抄録のみであったので、本文を約 4 ページという制約をしましたが、当日のご発表の記録としました。新たに本号には、村上泰子氏と大城善盛氏の意欲的な論文を掲載しています。なお、当日の呉東根博士のご講演の本文は、次号以降に掲載の予定です。

大阪での大会以後 LISSASPAC の交流は続き、11 月 10 日（金）・11 日（土）に韓国の東義大学校（釜山）にて行われた、LISSASPAC、KLISS 共催の国際会議に、志保田務博士が基調講演に招聘されました。本号では、その報告記事を掲載しています。その記事にも書きましたが、LISSASPAC の組織自身が次のステップへと進もうとしています。アジア・太平洋地域の図書館情報学者の交流を、さらに広げようと指向しています。

一方ここ日本支部では、会長の志保田博士を中心として、LISSASPAC の主旨と同方向の研究活動を行う方への表彰、「賞」を考えています。名称はまだ決まっていますが、今アジア・太平洋の国々との繋がりに注目し、さらに世界へと広げていくことの重要性を見つめ、後押しをしようと考えています。このような日本支部自身の活動へと歩を進め始めていることをお伝えして、さらに会員やこの主旨に賛同してくださる皆さまとの輪を広げていくことを願っております。今後の皆さまに期待し、ご協力をお願いしたいと思います。

（第 2 号編集責任者 前川和子）